

久しぶりのレポート

大学で Y 君から私のホームページが更新されていないと指摘された。気にはなっていたが、最終更新日は 8 月 5 日となっている。それから 2 ヶ月余りが経過して、夏から秋へと季節も移り変わった。長いようで短い夏休みを経て、10 月からの講義開始へと時は流れていった。昨日は編入学の第 1 次試験があり、学部も本格的な入試シーズンを迎えた。やはり入試というものは緊張するものだ。

ホームページに掲載してきたレポートも、8 月 1 日の「オープンキャンパス報告」が最後になっている。なぜ 2 ヶ月余りもレポートを書かなかったのか。なにかと忙しかったこともあるが、どうも書くことが億劫になり、ついつい先延ばしにしてきた。私の拙いレポートを楽しみにしている人もいるようなので(?)、あまり億劫がらずに気ままに書いていくことにしよう。とりあえず、これからのレポートで題材としたいテーマなどを紹介してみたい。

この 5 日に「合併問題シンポジウム in 藤岡」に呼ばれて、基調講演をおこなった。豊田加茂地域の広域合併の当面の焦点が藤岡町であり、住民の関心も高く、行楽日和の日曜日の午後だというのに 200 名近くの人に参加した。緊張気味ではあったが、合併について日ごろ考えていることなど、久しぶりに熱く語った。地元の新聞でも紹介されており、藤岡町や豊田市の動向に注目していきたい。

市町村合併については、11 日に大学で実施される社会調査実習の「中間報告会」でも取り上げられる。前にも書いたように、今年の私の担当テーマは市町村合併である。10 人の学生たちが半年近くにわたる調査結果を報告する。中間報告のタイトルは「合併しちょうそん？」だ。この奇抜なタイトルの由来、中間報告会の模様をまた紹介していきたい。

地方制度再編については、市町村合併とともに来月に提出される地方制度調査会の最終報告にも注目する必要がある。市町村や都道府県のあり方など、今後の地方制度の方向づけがなされる。それと大学をふくめて地方独立行政法人をめぐる動き、公の施設の管理に関する地方自治法の改正にも目が離せない。後者は政府の経済財政諮問会議でも取り上げられ、地方自治体の行政サービスや住民生活にきわめて大きな影響をもたらすことになるう。

(10 月 9 日記)